

第16回定期総会、懇親会中大クイズ

[1]現役中大生に、今どんな小説がよく読まれているかは、出版関係者としては気になるところです。中大生協多摩売店より伺った、2015年6月度の文芸書売上ランキングのナンバー1は皆さんのご想像の通り、又吉直樹著の『火花』(文芸春秋)でした。

そこで問題です。それではナンバー2は以下のどれでしょうか？

- ①「鹿の王 上巻」上橋(ウエハシ)菜穂子著 角川書店
- ②「武道館」朝井リョウ著 文藝春秋
- ③「リバーズ」湊かなえ著 講談社
- ④「教団X」中村文則(集英社)

(正解)②の朝井リョウ著「武道館」です。

※因みに3位は湊かなえ著「リバーズ」、4位は上橋菜穂子著「鹿の王 上巻」でした。

[2]現役中大生の67.1%が関東の1都6県出身ですが、地方出身の多くが一人暮らしをしています。ここで問題です。学生が一人暮らしをする時に重要視している条件の一番は以下の中のどれでしょうか？

- ①生活上の利便性
- ②セキュリティ
- ③交通の利便性
- ④家賃

(正解)③の交通の利便性です。以下、家賃、生活上の利便性となります。

セキュリティは女子の20.1%、男子の5.7%と圧倒的に女子に重視されています。

[3]一方、自宅通学も昨今の社会状況を反映して増えていて、文系学部生の56.2%が自宅通勤です。ここで問題です。

それでは理工学部生の自宅通学率は以下のどれでしょうか。

- ①50%台
- ②60%台
- ③70%台
- ④80%台

(正解)④の80%台で、85.7%が自宅通学です。

理工学部生の大学選択理由に「自宅から通勤が可能だから」とあるのが、裏付けられています。

[4] 中央大学女子陸上競技部は、伝統的に七種競技が強いことで定評があります。

女子陸上競技では、この七種競技の勝者のみが「クイーンズ・オブ・アスリート」と呼ばれ讃えられる過酷な競技ですが、京都文教高校時代からジュニア記録を持っていたヘンプヒル選手は、中央大学入学早々の4月には、今年8月に北京で行われる世界陸上の選考を兼ねた日本選抜和歌山大会で、大会新、日本ジュニア新、学生新記録で優勝し、日本歴代3位に入りました。

世界陸上のみならず、来年のリオデジャネイロ・オリンピック、さらには2020年の東京オリンピックでの活躍が大いに期待されるところです。

そこで、問題です。

女子の七種の競技とは、100m障害、200m走、800m走、走り高跳び、走り幅跳び、砲丸投げ、とあと一つはなんでしょう。

- ①やり投げ
- ②円盤投げ
- ③棒高跳び
- ④背負い投げ

正解は①番。

②の円盤投げと③の棒高跳びは男子10種競技の種目です。

出典:[1] ⇒中大生協、書籍店提供

[2]~[3]⇒中大ホームページ「学生生活実態調査結果」

[4] ⇒ HAKUMON Chuo 2015年夏号